

騒音測定操作ガイド

MODEL4430

下記に一般的な騒音(A特性)測定方法について述べます。詳細は取扱説明書をご参照ください。

1. サイドパネルの POWER を ON にします

2. 校正

A・C Flat を押し、周波数補正特性を A にします。

F・S Imp を押し、時定数を F にします。

Range を押します。

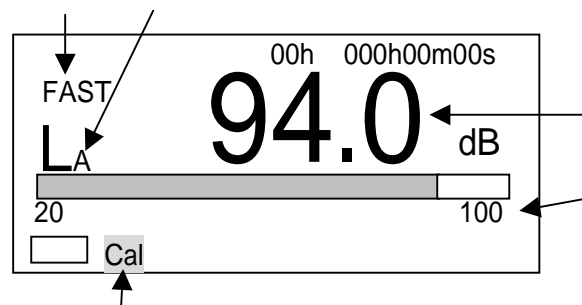
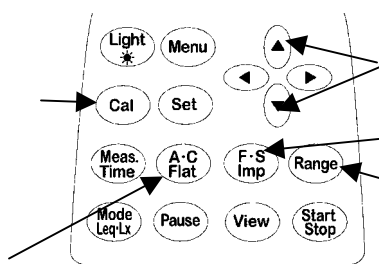
または を押しレンジが 100 になるようにします。

Range を押します。

Cal を押します。

値が 94.0dB を表示するようサイドパネルの Cal ボリュームを調整します。

Cal を押します。



3. 騒音レベル LA の測定

A・C Flat を押し、周波数補正特性を A にします。

F・S Imp を押し、時定数を F にします。

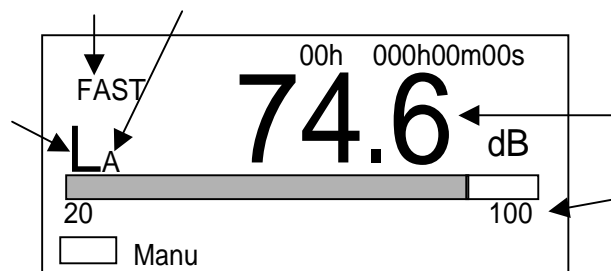
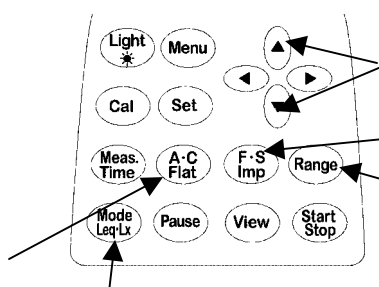
Range を押し 又は でレンジを 100 にします。

通常の環境騒音は、測定範囲 20-100dB でカバーできますが、測定するレベルが大きい、また小さい場合は、レベルに合わせて変更してください。

Range を押します。

Mode Leq Lx を押し、モードを L にします。

騒音レベル LA の値が表示されます。



4 . 等価騒音レベル(LAeq)の測定

A・C Flat を押し、周波数補正特性を A にします。

F・S Imp を押し、時定数を F にします。

Range を押し 又は でレンジを 100 にします。

通常の環境騒音は、測定範囲 20-100dB でカバーできますが、測定するレベルが大きい、また小さい場合は、レベルに合わせて変更してください。

Range を押します。

Mode Leq・Lx を押し、モードを Leq にします。

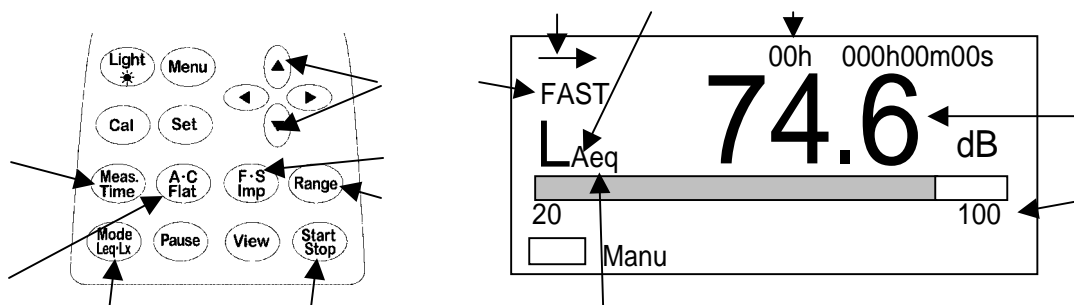
Meas. Time を押し、測定時間を選択します。

測定時間は 1s、3s、5s、10s、1m、5m、10m、15m、30m、1h、8h、24h 及び***マーク(Stop キー入力まで)で Meas. Time を押す毎に変わります。

Start Stop を押すと、測定が開始(FAST が表示)されます。

測定時間で設定された時間で測定終了し、等価騒音レベル LAeq の値が表示されます。

繰り返し連続測定や、1 回だけの測定の指定は Menu 画面の Interval で設定します。



5 . 単発騒音暴露レベル(LAe)及び時間率騒音レベル(Lx)の測定

本器は LA、LAeq の測定において、Start キーを押すと、その時点から設定測定時間までの以下の 9 値を自動的に算出する事ができ、特に留意することなく、LAe、Lx を取得することができます。

- ・ 等価騒音レベル : LAeq
- ・ 単発騒音暴露レベル : LAe
- ・ 時間率騒音レベル : L05 ,L10 ,L50 ,L90 ,L95
- ・ 測定時間内最小レベル及最大レベル : Lmin 及び Lmax

取得されたデータは、リスト画面で下記の一覧画面で確認できるほか、Mode Leq・Lx キーを押すことにより、それぞれをディスプレイに拡大表示させることができます。

時間率騒音レベル (Lmin、Lmax を含む) は、あらかじめ、メニュー画面 (2/2) でどの値を表示させるかを登録する必要があります。

登録の手順は次の 5 . Lmax の測定の ~ を参照ください。

< リスト画面 >

→	00h 000h00m00s
FAST	
Lap : 140.0dB	La05:140.0dB
LAeq : 140.0dB	La10:140.0dB
LAe : 140.0dB	La50:140.0dB
LMin : 140.0dB	La90:140.0dB
LMax : 140.0dB	La95:140.0dB
Manu	dB

リスト画面は View を何回か押すと表示されます。

6 . 時間内最大騒音レベル(L_{MAX})の測定

A・C Flat を押し、周波数補正特性を A にします。

F・S Imp を押し、時定数を F にします。

Range を押し 又は でレンジを 100 にします。

通常的环境騒音は、測定範囲 20-100dB でカバーできますが、測定するレベルが大きい、また小さい場合は、レベルに合わせて変更してください。

Range を押します。

Menu を 2 回押し、<Mode Set>画面を出します

又は で View にカーソルを動かします。

▶でカーソルを右に移します。

又は で LMa (Lmax を表す) を選択し、Set で確定します。

View を押して Menu 画面から出ます

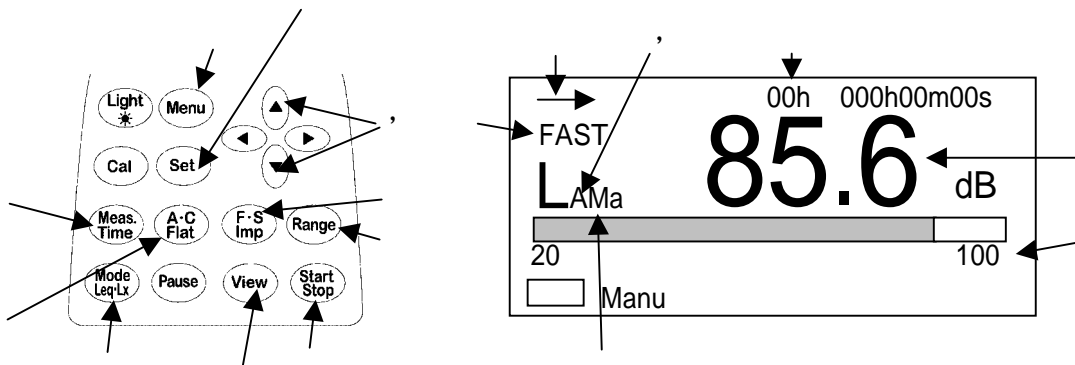
Mode Leq・Lx を押し、モードを LAMa にします。

Meas. Time を押し、測定時間を選択します。測定時間は 1s、3s、5s、10s、1m、5m、10m、15m、30m、1h、8h、24h 及び * * * マーク (Stop キー入力まで) で Meas. Time を押す毎に変わります。

Start Stop を押すと、測定が開始(が表示)されます。

測定時間で設定された時間で測定終了し、時間内最大騒音レベル Lmax の値が表示されます。

* * * を選択した場合は、再度 Start Stop を押すまでの Lmax となります。繰返し連続測定や、1 回だけの測定の指定は Menu 画面の Interval で設定します。



<Mode Set>画面

<Mode Set>	2/2
Range	: 130dB
Dyn cher	: FAST
Freq corr	: A
Meas time	: 10m
View	: LMa
baud rate	: 9600

7. ピーク C 特性騒音レベル(LCpk)の測定

基本設定を「ピーク計測」に変更します（「通常計測」への変更も同様の手順です）。

Menu キーを 1 回押し、<menu>1/2 画面を出します。1 行目の Meas Mode にカーソルが置かれていることを確認します。

▶でカーソルを右に移します。

キーで Peak に変更し、Set キーで確定します。

View キーを押し、Menu 画面から出て標準表示画面に戻ります。画面下部に Peak と表示されていることを確認します。

Range キー : 計測対象に合わせ、レンジを選択します。

動特性切替 : なし。

周波数補正 : C

測定時間 : 1s, 3s, 5s, 10s, 1m, 5m, 10m, 15m, 30m, 1h, 8h, 24h
***マーク(Stop キー入力まで)

計測モード : LCpk に固定。

Start キーで計測開始。

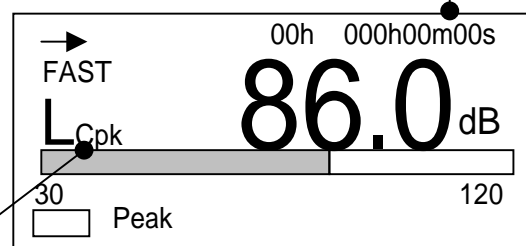
< 表示 >

<menu>画面

<menu>	1/2
Meas Mode	: Peak
Interval	: Single
I/O	: Off
Data delet	: Off
LCD cont	: ****
date y/m/d	: 02/04/19
time	: 11: 16: 58

標準表示画面

計測時間キーで表示が変わります。



周波数補正キーで表示が変わります。A C F A ...

- ・ Start キーを押すとその時点から設定された計測時間まで計測し、自動的に停止します。
- ・ デジタル表示は、計測時間までの途中の値を表示します（計測中は左上に を表示）。
- ・ 途中で Stop キーを入力するとその時点までのデータで計算し表示します。
- ・ 計測時間 * * * の場合、Stop キーが入力された時点又は 199 時間経過後に計算されます。